

令和6年度 学校評価

1 学校目標

学校教育目標	重点目標（中・長期的な目標）
1 豊かな教養と幅広い知識を養い、確かな技術と学力を育む。 2 健やかな身体と豊かな情操を培ふ。 3 社会の発展に貢献できる創造力と実践力を培う。 4 地域の環境を守り育てる心を養う。	1 人づくり 「環境」「技術」「キャリア」を柱とする実践的な教育をとおして、「創造力」「技術力」「人間力」を培い、多面的な資質と実践的な職業能力を備えた人づくりを推進する。 2 学校づくり 三学科が連携・協働し、互いに切磋琢磨し、知・徳・体のバランスのとれた教育をとおして、生徒一人ひとりが明るく楽しく安心して学べる学校づくりを推進する。 3 地域づくり 生徒・保護者・地域との共感を深め、地域を支える人づくり・地域を共につくる学校づくりをとおして、持続可能な佐久平の未来創生につながる地域づくりに貢献する。
	今年度の重点目標
	1 校是を実現するためのグランドデザイン・3つの方針に基づいて、生徒一人ひとりの未来像（キャリア形成）を意識した教育課程の実現に取り組む。（キャリア教育・全体） 2 探求的な学び・対話的な学び・ICTの活用に取り組むことで授業改善を図り、授業の魅力づくりと生徒一人ひとりが主体的に学力の向上と進路実現を目指すことを支援する。（学習指導・進路指導） 3 生徒と教職員の健康と命を守り、いじめや暴力、非遵行為のない、安全で安心して学べる学校づくりのため、明るい挨拶や規範意識の確立、職員全員による生徒の健康状態の見守りと施設衛生の保持等、お互いの人格をリスペクトする人間関係を築く力を育てる。（生きる力を育む生徒指導） 4 地域連携・協働など地域に開かれた教育活動を積極的に実践・発信し、佐総高の信頼とイメージの向上に努める。（社会に開かれた教育課程）

評価A:目標通り B:ほぼ目標通り C:改善を要する

総合評価	
評価	成果と課題

2 教育活動

対象	担当部署	評価項目	評価の観点
	教育課程 学習指導委員会	①ICTを取り入れた授業の研究 ②学習評価の研究 ③「多様な学習ニーズに対応した柔軟で質の高い学び」の周知・研究	①ICTを取り入れた授業の研究ができたか。 ②観点別評価が全年対象となった中での学習評価の研究ができたか。 ③文部科学省の通知「多様な学習ニーズに対応した柔軟で質の高い学び」の校内職員への周知をし、研究を始めることができたか。
学習指導	農業科全体	実験実習を通して知識・技能の習得および学校間交流を通じた地域連携	・実験実習や体験を通して知識・技能を深めることが出来たか。 ・小学校、養護学校等の交流活動を通して学習の理解を深め、コミュニケーション能力を養うことができたか。
	食料マネジメント科	植物栽培・動物飼育管理から加工、販売までの知識と技能の習得	・野菜を中心とした栽培管理や加工販売の知識と技能の習得ができたか。 ・産業動物の飼育管理や乳肉製品の加工販売の知識と技能の習得ができたか。
	生物サービス科	植物資源・動物資源を利活用した動植物介在活動の実践	・植物の特性・栽培の知識・技術を習得し、園芸福祉・環境デザイン・フラワーアレンジ等の植物資源の活用が適切にできたか。 ・動物介在活動等のヒューマンサービス、動物との共存に対応できる知識と技術を活用した産業動物飼養管理や地域交流活動ができたか。
	食農クリエイト科	食の安全・安心教育の実践 地域資源の活用・地域連携を通じた学校PR	・農産物加工品の品質向上や衛生管理の徹底など、食の安全・安心に配慮することができたか。 ・地域食材を利用した6次産業化や地域との連携に取り組み、佐総高をアピールできたか。
	工業科全体	インターンシップを通じて地元企業・事業所との連携	・就業体験する工業科2年生全員がこの体験により職業観・社会観の醸成を図る中で、就業先の特色を生かした将来に繋がる連携を深め、進めることができたか。
	機械システム科	体験に基づく、理解しやすい授業実践	・授業（実験・実習）で理解を深め、専門知識の定着を図ることができたか。 ・生徒が各種技能検定に積極的に取り組めたか。
	電気情報科	体験を通した、わかる授業の実践	・座学で学んだ知識を実習を通して定着する。電気の特性の理解と回路の結線法の理解、実習によるプログラミング言語の理解により、社会に役立つ知識と技術を習得することができたか。
	浅間キャンパス連携	共通科目や研究への取り組み	・学校設定教科「探究さくいだいら」は充実できたか。 ・課題研究などの連携は推進されたか。
創造実践科	創造実践科全体	自己を理解し、様々な学習を通して自己充実感、コミュニケーション能力向上を図る。	・授業への取組。 ・自主性やコミュニケーション能力を向上することができたか。
	生物環境系列	体験的学習を通して自己充実感、他者とのコミュニケーション能力の向上を図る。	・授業への取組。 ・地域との交流ができたか。
	デザイン系列	デッサンを中心に教科の関連性を理解し実践する。	・授業への取組。 ・発表会への準備、成果。

[illegible]

	実践科	文理医療系列	基礎学力を身につけ進路実現を目指す。	・授業への取組。 ・自己目標に向けて取り組めたか。
進路指導		進学指導	進学希望実現のための支援	・進学実現のために個々の課題を解決する支援ができたか。 ・補習授業の実施や小論文・面接指導等の支援ができたか。
		就職指導	就職希望実現のための支援	・希望する就職実現のための支援ができたか。 ・企業や職安との連携を深め、情報提供する支援ができたか。
		キャリア教育	職業理解を深めるための支援	・職業理解を深め目的意識を持って学習活動に取り組む支援ができたか。 ・地域社会を支える人材として自己実現を図る支援ができたか。
		生徒指導	①基本的生活習慣の確立 ②学習活動に集中できる学校環境の整備 ③地域から信頼・期待される生徒の育成 ④他の分掌との連携	・すずんでは「挨拶」を行うこと、時間・提出物など守ることができたか。 ・いじめや暴力を許さない雰囲気づくりができたか。 ・規範意識を持ちルールとマナーを守らせる指導ができたか。 ・厚生係、いじめ対策委員会等と連携できたか。
		生徒会	①より良い学校づくり ②地域連携 ③両キャンパス間連携	生徒会活動を通して ①より良い学校づくりができたか。 ②地域との交流ができたか。 ③両キャンパスの交流ができたか。
厚生		保健	感染症対策や保健行事の計画・実施と丁寧な健康相談を行い、必要時は校内や専門機関との連携を行う。	感染症対策や保健行事の運営、健康相談、必要時の連携ができたか。
		特別支援教育	アンテナを高くすることで生徒状況をいち早く把握し、各学年、養護教諭、生徒指導と相互に連携し合いながら支援の体制を整えていく。	得られた情報を全職員で共有できたか。連携を取りながら支援体制を整えられたか。
		教育相談	不適応や問題行動への対応とともに、日常的な相談や生徒理解を重視する。	アンケート、聞き取りを通じて不適応などの早期発見に努めることが出来たか。いじめもしくはそれと思われる事象について迅速な対応ができたか。
		人権平和教育	学校、学年、各教科で人権・平和問題に取り組む。1年はSNSの扱い方。2年は修学旅行を通して、3年は進路選択のなかで、学ぶ。	多様性が重視されるなかでお互いを尊重できるようになったか。それに向けて取り組めたか。

[illegible]

3 学校運営

対象	担当部署	評価項目	評価の観点
学校運営		両キャンパスにまたがる様々な諸課題について検討し、両キャンパスの連携を推進する。	各キャンパスから出された課題に対し、適切に対応できたか。
	清掃美化	日常の清掃美化活動を通じて、自らの学校生活を快適で充実したものにするため、校内の学習環境を整える。	活動を通じて、基本的な生活習慣の形成・勤労の意義や奉仕の精神の育成、集団の一員としての自覚を深め、責任感を育成することができたか。
教務	公開授業	授業公開（年2回）などの機会を生かし、佐総高校の魅力を発信する。	中学生だけでなく、地域に本校の存在意義が認識されたか。
	情報管理	①円滑に校務がはかれるように、セキュリティを確保しつつ、ICT機器の有効な活用を図る。 ②学校Webページからの情報発信を充実させる。	①グループウェアを活用して、校務の効率化が図れたか。また、利用率が向上したか。 ②学校行事などを掲載することにより、本校の魅力を伝えられたか。
渉外	PTA	生徒の学習活動が円滑に行われるよう、各学科、各キャンパス間の保護者、職員の風通しを良くし、行事等を協力して行う。	役員を、学科、キャンパス間でバランス良く選出できたか。PTA行事で十分な交流ができたか。
	同窓会	正副会長・理事・監事の新体制での運営および体制づくり。	10周年に向け同窓会組織づくりや記念事業の準備ができたか。生徒・職員の教育活動への援助ができたか。
危機管理	非遵行為防止	教職員の非行防止に向けた取り組みを実施する。	非遵行為防止に関する研修などを充実させることができたか。
	個人情報保護	様々な場面で個人情報情報が適切に管理するために研修を行う。	個人情報を適切に扱うことができたか。

[illegible]